



# 順天堂医院ニュース 2003

No. 7



## 新任教授紹介

### 耳鼻咽喉科

11月1日から着任いたしました池田勝久と申します。耳鼻咽喉科では耳、鼻、口腔、喉頭（のど）を含めた鎖骨よりも上の頭部や頸部の症状・疾患を幅広く取り扱う診療科です。脳神経外科や眼科などとの綿密な連携を行い、患者さまのご要望に沿った診療を心がけております。日帰りや短期入院の低侵襲の手術を積極的に導入しておりますので、遠慮なくご希望をお申し付けください。専門の外来としてはアレルギー性鼻炎・花粉症・副鼻腔炎、神経耳科（めまい）、いびき・睡眠時無呼吸、頭頸部腫瘍・癌、顔面神経麻痺、難聴、音声、耳鳴などがあり、専門医がご相談いたします。



教授 池田勝久



教授 長岡正範

### リハビリテーション室

このたびリハビリテーション医学教授に就任した長岡正範と申します。リハビリテーション医学は、脳卒中や骨関節疾患など様々の病気や怪我で不自由を感じておられる方々に、専門の訓練士による訓練、医療福祉相談の情報提供、院内の他科との連携などにより、ふたたび皆さまの持てる能力を発揮していただくことができるようにお手伝いをいたします。

このたびリハビリテーション医学教授に就任した長岡正範と申します。リハビリテーション医学は、脳卒中や骨関節疾患など様々の病気や怪我で不自由を感じておられる方々に、専門の訓練士による訓練、医療福祉相談の情報提供、院内の他科との連携などにより、ふたたび皆さまの持てる能力を発揮していただくことができるようにお手伝いをいたします。

## インフルエンザの予防と 重症急性呼吸器症候群（新型肺炎：SARS）について



感染対策室 堀 賢



今年もインフルエンザをはじめとする風邪の季節がやってきました。インフルエンザは、突然 38℃以上の高熱がでてふしぶしが痛くなる感染症で、毎年冬になると流行します。この病気はウイルスが原因で、気管の粘膜に強い炎症がおきます。健康な方であれば 5 日で治りますが、通院中や 65 歳以上の方がインフルエンザにかかると、呼吸器系や循環器系の慢性病をお持ちの方では、死亡率が 40 倍から 150 倍に跳ねあがります。高齢者でも、65 歳以上では 4 倍に、75 歳以上では 30 倍にも上ります。このような方々は、ワクチンの予防接種を受けた方が良いでしょう。妊婦の方にも安全です。インフルエンザには特効薬もありますが、発熱から 48 時間以内に内服しないと効きませんし、慢性病の悪化は避けられません。なにより予防をすることが一番肝要です。今春にアジアで流行した SARS は、最初の症状がインフルエンザと見分けがつかえません。ご自分がどちらの病気にかかったかを判断するためにも、あらかじめインフルエンザワクチンを接種しておきましょう。

また、**当院は SARS 専門病院ではありませんので、お住まいの地域の保健所へお問い合わせ**ください。なお SARS の受診には、あらかじめ専門病院への電話連絡をお願いいたします。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。





# 《医療プロジェクト室(文部科学省)》

のご案内

順天堂大学は、文部科学省リーディングプロジェクト「個人の遺伝情報に応じた医療の実現プロジェクト」に協力しています。

これは、薬の効き易さや副作用の起こり易さの予知・疾病の根本原因の解明と疾病予防などを目的としています。

現在、疾病と戦われている皆さまから血液をいただき、遺伝子・タンパク質などを解析し、患者さま毎に最適の医療を提供する21世紀の新医療開発を目指した国家プロジェクトです。

孫やひ孫のためにもぜひ参加してください!



採血量は全部で14ccです。

## ★対象疾患★

糖尿病、狭心症、心筋梗塞、骨粗しょう症、脳血管障害、気管支喘息、不整脈、慢性肝疾患、白内障、心不全、てんかん、子宮筋腫、子宮内膜症、花粉症、関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、バセドウ病、慢性閉塞性肺疾患、過敏性症候群(蕁麻疹)、熱性けいれん、緑内障、尿路結石、ネフローゼ症候群、歯周病、ケロイド、結核、肺気腫(COPD)、高脂血症、悪性腫瘍(肺癌、食道癌、胃癌、大腸・直腸癌、肝癌、膵癌、胆嚢・胆管癌、前立腺癌、乳癌、子宮頸部癌、子宮体部癌、卵巣癌)

◇なお、疾患は順次追加される可能性があります。(詳しくはお問い合わせください。)

♥詳細は1号館1階「医療プロジェクト室(文部科学省)」にて説明させていただいておりますのでお気軽にご相談ください。



# リハビリテーション室の紹介

リハビリテーション医学が目標とする  
二つの目標についてご説明いたします。

## ○ 機能訓練ならびに障害に対するチームアプローチ

順天堂医院で高度先進医療を受けておられる患者さまはどなたも、病気を完全に治してご自宅に戻ることを希望しておられます。リハビリテーションは18名の訓練士による機能訓練を通じてそのお手伝いをしています。一方、加齢に伴う様々の現象（慢性疾患）など、現代医療で治ゆることのできない状態（障害）もあります。障害を負うことは是非避けたいものですが、それが残ってしまった場合でも、残された機能で損なわれた機能を補う（代償）、環境を整備する福祉制度を利用するなど、様々のノウハウを導入すると、また新たな生活が可能になることがあります。



## ○ QOLの向上

リハビリテーション医学は、これらの訓練士の技術を基礎に、その他の知識や技術を組み合わせて皆さまの生活の質（QOL）を高めることを目標にします。

リハビリテーション医学は、手足の不自由だけでなく、視力や聴力、内科疾患、メンタルなどたくさんの診療科と関連があり、今後一層連携を強めていきたいと考えています。



皆さまの声を聞かせください。  
ご意見ご感想は、「皆様の声」ボックスまでお寄せください。

順天堂大学医学部附属順天堂医院

〒113-8431 文京区本郷 3-1-3

TEL：03-3813-3111（大代表）

ホームページ：

<http://www.tokeidai.co.jp/juntendo/>



構成：平野 澄江